



市会だより

第84号
平成28年(2016年)
12月15日発行

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/> 京都市会 検索

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

9月市会 の報告 後半

平成27年度決算を認定

9月21日の本会議では市長から83件の議案が提出され、このうち、平成28年度一般会計補正予算案は9月28日の本会議において可決し、同日に追加提出された染織家の志村ふくみ氏を名誉市民として表彰する議案に同意しました。また、平成27年度決算をはじめとする残りの議案82件については、10月26日の本会議で全て認定・可決しました。また、議員提出議案については、意見書13件のうち8件を、決議2件のうち1件を、可決しました。

●平成27年度決算を徹底的に審査！

平成27年度決算について、全会計決算規模1兆6,365億円となる決算書をはじめ、収支の分析や主要な施策の推進結果などをまとめた実績報告書等が、監査委員の意見書を付けて市長から提出され、決算特別委員会で詳しく審査しました。

平成27年度決算の特徴(抜粋)
全会計規模 1兆6,365億円(対前年比 482億円増)

- 一般会計の実質収支の黒字を確保
- 一般会計・特別会計・公営企業会計の全会計を合わせた実質収支の黒字を確保
- 全会計・一般会計ともに実質市債(借金)残高を着実に縮減
- しかし、財政基盤(税収)が弱い、国の税制上の措置が不十分などの理由から、公債償還基金の取崩しなどの「特別の財源対策」に依存せざるをえないなど、本市の財政は依然として厳しい。

●中学生に直接傍聴いただきました！

10月18日の決算特別委員会(市長総括質疑)を、京都教育大学附属桃山中学校2・3年生15名が直接傍聴されました。「議会は固いイメージだったが、思ったより自分たちに身近な議論がされていて親しみを感じた」などの感想をいただきました。



中学生による直接傍聴の様子

今号では、9月市会の後半(10月3日～10月26日)の審議結果などについてお伝えしています。補正予算の審議や代表質問などが行われた9月市会前半(9月21日～9月30日)の内容については、前号(第83号)に詳しく掲載していますので、市会ホームページなどからご覧ください。



9月市会の後半は決算の話がメインだったのね！

そうだよ、9月市会は「決算市会」と呼ぶこともあるんだ。ちなみに、2月市会は「予算市会」だよ。

決算って、簡単に言うと、去年1年間のお金の出入りをまとめたものよね？なぜ9月になってから話し合うの？遅くない？

- それはね、例えば一般会計は、前年分のお金の出入りを整理できるのが5月末なんだけど、そこから、
- ① 会計管理者が決算書等をまとめ、市長に提出(8月末まで)
 - ② 市長は決算書等の監査を、監査委員に依頼
 - ③ 市長は、②の監査委員の意見を付けて、決算書等を市会に提出
- という手続きが必要だから、9月市会で決算を審議することになるんだ。

なるほど～。でも、そもそも、なぜ決算を市会で話し合わないといけないのかな？使っちゃったものはしょうがない！……ではダメなのね？

もちろんだよ！市の予算を決めるのは市会の重要な仕事だけど、予算はあくまで見積り。それが実際にどう使われたのか、それで市民のくらしが本当に良くなったのかなど、決算に基づいて市会で十分に議論・検証して、次の予算を決めるときに活かすことも、また重要な仕事なんだよ！

そっか！決算は、ただ過去の数字が並んでるだけじゃなくて、未来の京都を良くするヒントがいっぱい詰まってる……だから決算市会での議論が大切なのね！

2面では9月市会の審議の流れ、3面では常任委員会の活動を詳しく紹介します！